

事業者名															
所在地															
経営沿革															
経営理念															
事業導入の目的															
経営目標達成に係る計画	現状						5年後								
	生産・技術														
	流通・販売														
	経営管理														
	生産体制														
	労働管理・雇用														
経営品目	＜現在の経営内容＞						＜事業実施後の経営像＞5年後 ※現在＋1,000万円以上かつ売上3,000万円以上								
	作付面積 (a)	生産量 (kg)	単価 (円/kg)	売上高 (千円)	農業経営費 (千円)	農業所得 (千円)	作付面積 (a)	生産量 (kg)	単価 (円/kg)	売上高 (千円)	農業経営費 (千円)	農業所得 (千円)			
合計															
人員配置	家族労働	名				常時雇用	名				家族労働	名			
						臨時雇用	名					臨時雇用 名			

[illegible]

(様式3)

強い農業構造確立推進事業 経営計画書(記載例) 構造確立 添付⑨

事業者名	水田 太郎															
所在地	福岡市博多区東公園7番7号															
経営沿革	・平成〇年 親元就農し、水稻〇ha、麦類〇ha、大豆〇栽培 ・平成〇年 経営移譲を行い経営主となる ・令和〇年 雇用導入のため、露地野菜(ブロッコリー)を導入															
経営理念	地域と共に発展															
事業導入の目的	雇用人数を拡大し売上を増加させるために、更なる土地利用型作物の規模拡大と、集約した農地を効率的に作業するため畦畔除去によるほ場の大区画化を行う。															
経営目標達成に係る計画	現状						5年後									
	生産・技術	ほ場の平均面積:30a/筆					ほ場の平均面積:60a/筆									
	流通・販売	系統出荷					HPを作成し直販を開始									
	経営管理	青色申告					税理士と連携									
	生産体制	経営主のみで作業計画を作成しており、役割分担が出来ていない					品目ごとに責任者を設け、効率的な作業を実施する									
	労働管理・雇用	就業規則が整備されておらず、常時雇用が定着していない					就業規則の整備、常時雇用の定着									
経営品目	＜現在の経営内容＞						＜事業実施後の経営像＞5年後 ※現在+1,000万円以上かつ売上3,000万円以上									
	作付面積 (a)	生産量 (kg)	単価 (円/kg)	売上高 (千円)	農業経営費 (千円)	農業所得 (千円)	作付面積 (a)	生産量 (kg)	単価 (円/kg)	売上高 (千円)	農業経営費 (千円)	農業所得 (千円)				
水稻	1,200	50,400	300	15,120	10,584	4,536	1,800	86,400	300	25,920	18,144	7,776				
麦	2,000	72,000	65	11,390	7,973	3,417	2,800	117,600	65	18,604	13,023	5,581				
大豆	800	8,000	180	5,622	3,935	1,686	1,000	15,000	180	8,791	6,153	2,637				
ブロッコリー	100	8,200	350	2,870	1,837	1,033	200	17,000	350	5,950	3,808	2,142				
合計	4,100			35,002	24,329	10,673	5,800			59,265	41,128	18,136				
人員配置	家族労働		4 名		常時雇用		2 名		家族労働		4 名		常時雇用		4 名	
					臨時雇用		5 名						臨時雇用		5 名	

機器の導入及び栽培計画																	
品目（導入機械）		年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考		
水稲（レーザーレベラー）		7			田植				収穫			ほ場大区画 化・均平化					
		8			田植				収穫								
経営規模																	
<現在の経営面積>									どちらかに○		<事業実施後(5年後)の経営面積>					どちらかに○	
自作地	水田	8			(ha)		㎡		自作地	水田	8			(ha)		㎡	
	畑				ha		㎡			畑				ha		㎡	
借地	水田	13			(ha)		㎡		借地	水田	22			(ha)		㎡	
	畑				ha		㎡			畑				ha		㎡	
合計		21			(ha)		㎡		合計		30			(ha)		㎡	
<現在の施設・機械・設備>									<事業実施後(5年後)の機械・設備>								
施設・機械・設備		台数		備 考					施設・機械・設備		台数		導入希望年				
トラクター		3		52ps,60ps,80ps					トラクター		3		52ps,60ps,80ps				
田植え機		1		8条					田植え機		1		8条				
自脱型コンバイン		1		6条					自脱型コンバイン		1		6条				
普通型コンバイン		1		刈幅2.0m					普通型コンバイン		1		刈幅2.0m				
経営戦略			1年後		2年後		3年後		4年後		5年後		どうやって(戦術)				
技術戦略			○		○								レーザ－レベラーによる均平化 自動操舵システムを既存機械 に装着				
畦畔除去によるほ場の大区画化を 行い効率化を図る。 従業員でも作業の熟練度に差が出ないよう スマート農機の導入を図る。																	
販売戦略					○ ○								卸業者との提携				
HPを作成し直販を開始 契約栽培の割合を増やす																	
人材確保戦略							○ ○						専門家にアドバイスを依頼する 社労士と就業規則の作成				
法人化 福利厚生の充実																	
全体戦略			○				○										
ほ場の集約と合筆による効率化 省力化技術の導入による規模拡大																	

※「経営戦略」の欄は、申請時は不要。実施年度内(実績報告時)に完成させる。